



大規模災害に備えましょう

水の備蓄していますか？

最低でも1人3日分=2ℓペットボトル約4本
可能であれば1人7日分=2ℓペットボトル約10本



ローリングストックで大規模災害に備えよう！

大規模災害が発生したときには、通常の災害よりも広い範囲で被害を受け、応急給水の体制が整うまでに時間がかかる恐れがあります。そのため、国の呼びかけでは、可能であれば7日間分の飲料水を備蓄することが望ましいとされています。

そこで、ローリングストックでペットボトル飲料水などを買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の飲料水が備蓄されている状態を保ち大規模災害に備えることができます。

水道水のくみ置きについて

くみ置きの方法

- 10リットル程度の新しいポリ容器を用意し、水道水で十分に洗浄します。
- ポリ容器に空気が入らないように、いっぱいまで水道水をいれてフタをしめます。
- 直射日光が当たらない、風通しの良いところで保存します。
- 保存期間は、3日が目安です。3日過ぎたら花の水やりや洗濯などに使用し、新しい水道水に取り替えます。

くみ置きの注意点

- 水道水は、細菌などで汚染されないように塩素で消毒されています。水道水をくみ置きすると、時間とともに塩素が消失し、雑菌が繁殖して安全性が低下します。
- くみ置き水は、保存を開始してから数日後に被災すると、安全性の問題により、飲み水としてわずかな期間しか使用できないデメリットがあります。



いざというときに備えて、飲み水の備蓄および
応急給水拠点の確認をお願いします。

災害への対応についてはこちら ▶

